

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 7日は、低気圧が発達しながらサハリン付近に進み、前線が日本の東から沖縄・奄美付近にのびる。
- 8日は、発達した低気圧がオホーツク海に進み、高気圧が黄海から本州付近に移動する。
- 9日は、高気圧が日本の東に移動し、前線が華中から西日本付近にのびる。
- 10日は、前線が西日本から東日本にのびる。高気圧が11日にかけて沖縄の南に張り出す。
- 11日は、前線が日本の南に南下し、低気圧が沿海州付近に進む。

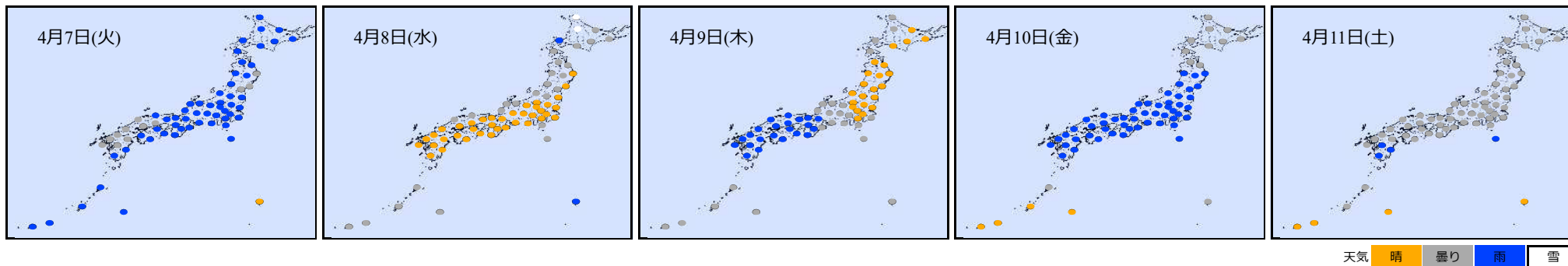
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 7日から8日頃は、オホーツク海へ進む低気圧の影響で北日本では荒れた天気となり、低気圧の発達程度等によっては大荒れとなるおそれがある。
- 7日頃は、活発な前線の影響で西日本と沖縄・奄美では大雨となり、前線の活動の程度によっては警報級の大雨となるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

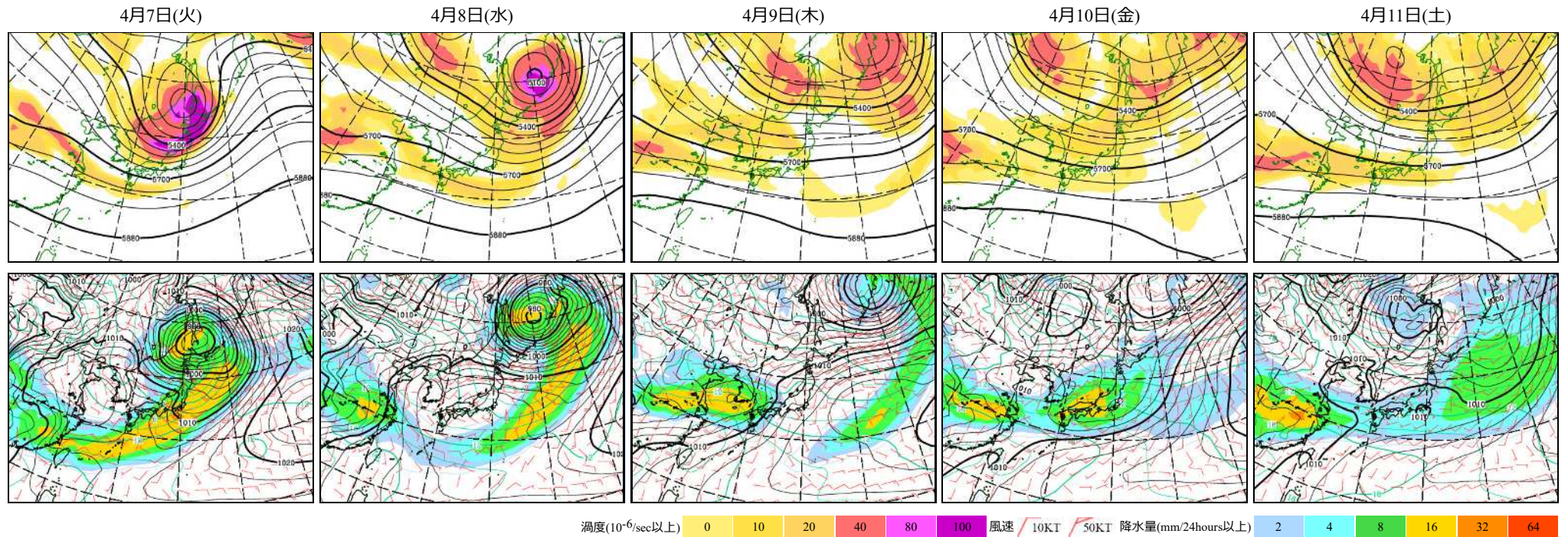
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

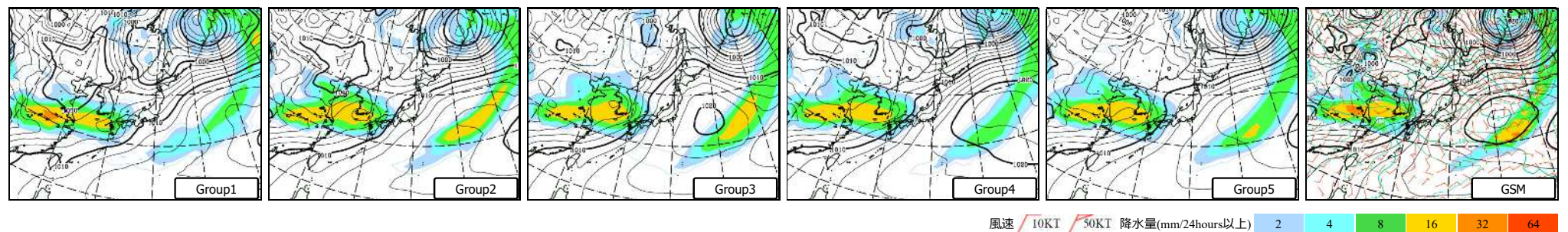


- 北日本は、曇りや雨または雪の降る日が多いが、8日から9日は晴れる所がある。
- 東日本は、曇りや雨の降る日が多いが、8日から9日は晴れる所がある。
- 西日本は、曇りや雨の降る日が多いが、8日は晴れる所が多い。
- 沖縄・奄美は、9日にかけて曇りや雨の降る日が多いが、10日から11日は晴れる所が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆4月9日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料 (ENS) は、7日から8日にかけてオホーツク海へ進む低気圧の勢力が強まった。9日は東シナ海の前線の位置が北に寄り西日本付近に延びた。このため9日は西日本で降水確率ガイダンスの値が高くなった所がある。
- モデル間の差は8日までは小さいが、その後は、日本付近を通過する低気圧や前線のばらつきが大きい。
- スプレッドは期間の終わりは大きく、特定高度線のばらつきも大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。